

フードドライブ

取り組みの手順書



社会福祉法人山形県社会福祉協議会

はじめに

- ☞ フードドライブは、賞味期限内にもかかわらず、消費する予定がなく眠っている食品や、包装や印刷ミス等により流通に乗らない食品を家庭や企業等から寄付してもらい、生活困窮者等必要としている人や社会福祉施設、団体、学童保育所、子ども食堂等に無償で提供することを通し、誰もが安心して暮らすことができる地域づくりを目指す活動です。
- ☞ まだ食べられるのに廃棄されてしまう食品ロスも大きな社会問題となっています。国の推計によれば、1年間で捨てられる食品は約630万トンに上り、国民1人あたりに換算すると、毎日茶碗約1杯分の食品が捨てられていることとなります。
- ☞ フードドライブの活動による効果は、貧困問題の解消のみに留まりません。膨大な食品ロスの軽減、分け合う心（福祉の心）の醸成を図るといった側面とさまざまな効果があり、今後ますます大きな広がりが期待されています。

フードドライブの取り組みが求められる背景

【他人事ではない貧困問題】

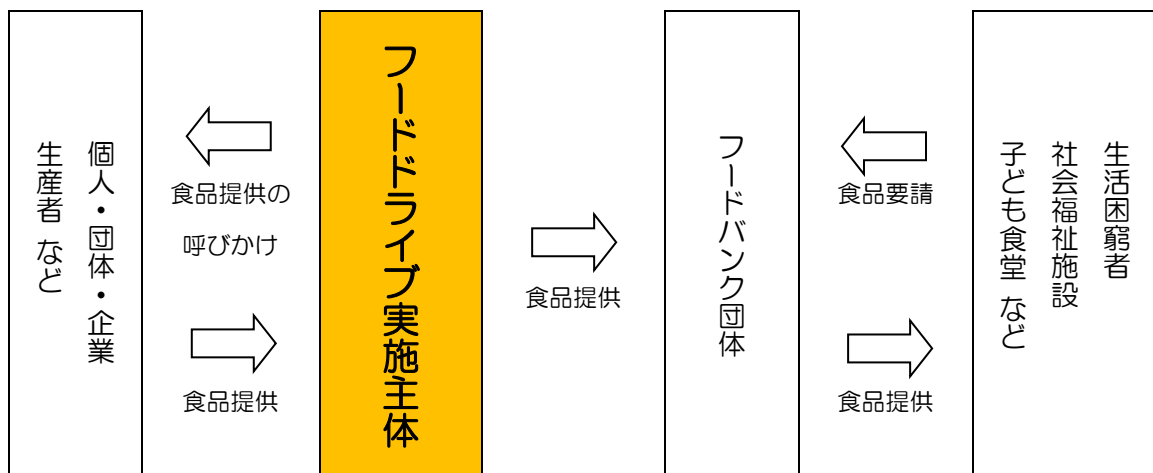
- ☞ 近年、生活困窮や社会的孤立の問題が大きくなっています。厚生労働省が公表しているわが国の貧困率は、2015年時点で15.6%。子どもの貧困率も13.9%と、子どもの7人に1人が貧困の状態にあり、深刻な社会問題となっているのです。
- ☞ 借金、失業など、貧困の状態に陥ってしまう原因はさまざまです。社会的孤立の状態が長く続くことに起因する貧困も大きな問題となっています。また、複数の問題が重なり合うことで問題も深刻になります。
貧困の問題は決して他人事ではありません。私たちのすぐまわりにある問題として捉えることと、自分の問題として考えることが求められます。

【社会全体で支える必要性】

- ☞ そうした中で、子どもの貧困対策法に基づく国を挙げての貧困対策が拡充されており、本県においても、山形県子どもの貧困対策推進計画に基づき、子どもの将来が、生まれ育った環境に左右されない社会の実現、子どもたちが夢と希望を持って成長することができる社会の実現をめざした取り組みが進んでいます。
- ☞ 生活保護の状態に陥らないための支援を行う生活困窮者自立支援制度が平成27年度から始まっています。一人ひとりに寄り添った就労支援や家計相談、子どもの学習支援などの取り組みが山形県内全域でも展開されています。
- ☞ 「我が事」、「丸ごと」をキーワードとした地域共生社会の実現に向けた取り組みが始まっています。課題を他人事とせず、自分の問題として捉えること、多様で複合的な課題を丸ごと受け止めること、そして、支え手・受け手という関係を超えて、住民一人ひとりの暮らしや生きがい、地域を共に創っていくのが地域共生社会のめざすところです。
地域共生社会を具現化する取り組みとして、フードドライブの輪が広がっていくことが期待されます。

フードドライブとは

【フードドライブのながれ】



- ☞ 前頁のながれのように、家庭等から食品を収集し（持ち寄り）、フードバンク団体に渡すまでの活動を一般的にフードドライブと呼びます。
- ☞ フードドライブの活動に取り組むにあたっては、時間や労力、経済的な負担は特に伴いません。社会に役立ちたいという思い、工夫、食料を保管するスペースを確保するだけで、大きな効果を生む活動なのです。
- ☞ 県内でも、社会福祉協議会をはじめ、社会福祉施設、企業、学校、団体などで、フードドライブの取り組みが進んでいます。
- ☞ 県社協（山形県総合社会福祉センター1階地域福祉部）では、食品回収ボックスを常設し、広く県民に食品の提供を呼びかけています。寄せられた食品は、フードバンク団体（やまがた福わたし）を通じ、食品を必要とする個人や団体に提供しています。

【フードドライブとフードバンク】

- ☞ フードバンクは、フードドライブの活動に加えて、生活困窮者や福祉施設、子ども食堂など食品を必要とする個人や団体に提供するまでの一連の活動全般を行うのが一般的なフードバンクの活動です。
- ☞ 現在、山形県内を拠点に活動しているフードバンク団体は、「NPO法人フードバンク山形」、「やまがた福わたし（フードバンク山形中央）」、「コープ東北（コープフードバンク）」の3団体があります。

- NPO法人フードバンク山形
 - ☎ 0238-37-3282
 - <https://hoodbank-yamagata.jimdo.com/>
- やまがた福わたし（フードバンク山形中央）
 - ☎ 050-5309-9702
 - <https://foodbankyamagatachuoh.jimdo.com/>
- コープ東北（コープフードバンク）
 - ☎ 022-779-1556
 - <http://www.tohoku.coop/foodbank/>

フードバンク団体の取り組みから

【NPO法人フードバンク山形】



県内で最初にできたフードバンク団体。東日本大震災時は、山形県内各地の避難所に大量の食品を提供する活動も展開しました。

【やまがた福わたし(フードバンク山形中央)】



山形市内のスーパーマックスバリュの店舗に設置されたフードドライブボックス。お客様の善意が寄せられています。

本会立会いのもと、マックスバリュ東北㈱と、やまがた福わたしがフードドライブ協定を締結。



【コープ東北(コープフードバンク)】



豪雪地の米沢市。米沢市社協がコーディネートし、ボランティアによる除雪活動が行われています。

活動終了後、コープフードバンクが提供した食品で昼食交流。地元高校生等ボランティア同士の交流も深まります。



フードドライブの取り組み手順

手順 ① 実施する日時、場所を決めます。

手順 ② 食品の提供を呼び掛けます。

【一般的に扱う食品の例示】

穀類（お米、乾麺、小麦粉）／保存食品（缶詰、瓶詰など）
調味料／食用油／インスタント食品／レトルト食品
飲料／離乳食／乾物／生鮮野菜／災害備蓄品／お歳暮やお中元などのギフト品

手順 ③ 食品を集めます。

【預かる食品の確認事項】

- 消費期限、賞味期限が明記されているか。
- 消費期限、賞味期限までに1か月以上あるか。
- 未開封のものか。
- 破損で中身が出ていないか。

【預かる際の注意事項】

- 提供者の住所、氏名、電話番号を確認します。
- 食品に記載されている保管上の注意事項を遵守し、フードバンク団体に受け渡すまで適正に保管します。

手順 ④ 食品をフードバンク団体に受け渡します。

【受け渡す際の注意事項】

- フードバンク団体では、食品を預かってから、食品を必要とする個人や団体等に提供するまで、一定の日数を要することがあります。そうした時間的な余裕を考慮したうえで、なおかつ消費期限や賞味期限に配慮しながら、フードバンク団体に受け渡すことが必要です。
- フードバンク団体に受け渡すまでに、集めた食品の消費期限、賞味期限が過ぎてしまう場合もあります。
せっかくの善意を無駄にしてはいけないという思いがあるかもしれませんが、食中毒などの事故が起きてしまっては元も子もありません。期限を過ぎたものは必ず廃棄処分してください。
- フードバンク団体の担当者の立会いのもと、消費期限、賞味期限の確認、未開封か、破損がないか、食品一つ一つを確認しながら受渡し作業を行います。
- 食品と引き換えにフードバンク団体から食品受領書を発行してもらいます。
- 自分たちで集めた食品がどのように役に立ったかを知ることで活動の継続の糧にもつながります。
フードバンク団体からそうした情報を得ることと、得た情報を仲間や食品を提供してくれた方と共有することも必要です。

ここまで述べたように、フードバンク団体に食品を受け渡し、フードバンク団体が食品を必要とする対象者(生活困窮者や団体、施設等)に食品提供を行うのが一般的なながれとなります。

しかし、地理的な問題でフードバンク団体との連絡調整に莫大な時間を要する場合や、一刻も早く食品を提供する必要がある場合等、フードバンク団体を介さずに、対象者の把握と食品の提供までの一連の活動を行うことも有益な活動となります。

期待される活動の広がり

【子どもの居場所づくりとフードドライブ】

- ☞ 地域の中で、より多くの人々の目で子どもを見守り、何らかの課題を抱えた時に、いち早く気付いてあげられるいわゆる「子どもの居場所」の重要性が高まっており、県内でも子ども食堂の取り組みや学習支援の取り組みが広がりを見せています。
- ☞ フードドライブの取り組みは、生活困窮者等への緊急支援のみならず、子ども食堂への食料提供などを通して、子どもの居場所を食の部分から支える取り組みとしても広がりが期待されています。

【社会福祉法人の取り組みとしての広がり】

- ☞ 社会福祉法において、すべての社会福祉法人が、地域の中で公益的な取り組みを行うことが責務として規定されました。
- ☞ 社会福祉法人には、これまでに培ってきた福祉サービスに関する専門性やノウハウ、地域住民や地域の関係者とのネットワーク等など活かしながら、「地域における公益的な取組」の実践を通じて、積極的に地域に貢献していくことが求められています。
そうした中で、具体的な取り組みとして、フードドライブもしくはフードバンク団体として活動に取り組むことで地域に貢献することも期待されます。

このマニュアルに関するお問い合わせ先

社会福祉法人 山形県社会福祉協議会（地域福祉部地域福祉係）

〒990-0021 山形市小白川町 2-3-31

TEL 023-622-5805

FAX 023-626-1623